

# 9党首、最後の訴え

与野党は30日夜、12日間にわたった衆院選の選挙戦を終えた。日本経済新聞の終盤情勢調査では289の小選挙区のうち4割が接戦となっており、9党首は大都市部の激戦区を中心に少しでも票を開拓しようと有権者へ最後の訴えに臨んだ。(一面参照)

## 首相 「成長も分配も」

## 枝野氏 「支え合う社会」

岸田文雄首相(自民党総裁)は東京・品川の大井町駅前で「全国で大接戦、大激戦が続いている」と訴えた。首相は勝敗ラインを公明党とあわせて「与党で衆院の過半数の2/3議席」と説明する。終盤情勢調査は自公で過半数を射程に入れる。自民が単独で過半数を維持できるかの野党との攻防になっている。

首相は「成長も分配も両方しっかりやる。そこが自民党の強みで野党との違いだ」「外交を自公の立川駅前です。あるいは立憲民主党、共産党の野党勢力に委ねるのか。選挙で問われている」とも強調した。

立民の枝野幸男代表は自身の地元さいたま市の大宮駅前を最終演説の場所とした。「1億総中流社会を取り戻す先頭に立たせてほしい」と力説した。立民は公示前の110万円の給付の必要性を説いた。

「新型コロナウィルスを乗り越えて日本再生の道をどう切り開いていくか。担えるのは自公連立政権しかない」とも述べた。

立民と候補者調整した共産の志位和夫委員長は新宿駅西口で「野党共闘が最終盤で大きな力を発揮している。多くのとこで自民を断崖絶壁まで追い詰めている」と語り「政権交代を実現し国民の声が生きる新しい政権をつくらう」と力を込めた。

日本維新の会の松井一郎代表は大阪市の難波駅前で「大阪での改革を全国でスピード感をもって行ったためには永田町で維新の政治家を増やすしかない」と話した。「政治家の身分にメスを入れる」と議員の定数削減など「身を切る改革」を唱えた。

国民民主党の玉木雄一郎代表は茨城県日立市で「社会も経済も働き方もすべてが変革を求められている」と説いた。「古い政治を続けるのか、新しい国民のための信頼できる政治に変えていくのが最大の争点だ」と語気を強めた。

れいわ新選組の山本太郎代表は新宿駅南口で「消費税は必要ない。廃止すべきだ」と演説した。社民党の福島瑞穂党首は福岡市で「新自由主義を継続するのか社会民主主義的政策に転換するのかが問われている」と提起した。

「NHKと裁判している党弁護士法72条違反で」の立花孝志党首は東京・千代田の秋葉原駅前でNHKのスクランブル放送の実現を主張した。

枝野氏は東京都立川市

立民の枝野幸男代表は自身の地元さいたま市の大宮駅前を最終演説の場所とした。「1億総中流社会を取り戻す先頭に立たせてほしい」と力説した。立民は公示前の110万円の給付の必要性を説いた。

「新型コロナウィルスを乗り越えて日本再生の道をどう切り開いていくか。担えるのは自公連立政権しかない」とも述べた。

立民と候補者調整した共産の志位和夫委員長は新宿駅西口で「野党共闘が最終盤で大きな力を発揮している。多くのとこで自民を断崖絶壁まで追い詰めている」と語り「政権交代を実現し国民の声が生きる新しい政権をつくらう」と力を込めた。

日本維新の会の松井一郎代表は大阪市の難波駅前で「大阪での改革を全国でスピード感をもって行ったためには永田町で維新の政治家を増やすしかない」と話した。「政治家の身分にメスを入れる」と議員の定数削減など「身を切る改革」を唱えた。

国民民主党の玉木雄一郎代表は茨城県日立市で「社会も経済も働き方もすべてが変革を求められている」と説いた。「古い政治を続けるのか、新しい国民のための信頼できる政治に変えていくのが最大の争点だ」と語気を強めた。

れいわ新選組の山本太郎代表は新宿駅南口で「消費税は必要ない。廃止すべきだ」と演説した。社民党の福島瑞穂党首は福岡市で「新自由主義を継続するのか社会民主主義的政策に転換するのかが問われている」と提起した。

「NHKと裁判している党弁護士法72条違反で」の立花孝志党首は東京・千代田の秋葉原駅前でNHKのスクランブル放送の実現を主張した。



各地で演説する(左上から時計回りに)自民、立民、共産、国民、維新、公明の党首

### 党派別立候補者数

	合計	小選挙区	比例代表
自民	336	277	310(251)
立民	240	214	239(213)
公明	53	9	44( 0)
共産	130	105	40( 15)
維新	96	94	96( 94)
国民	27	21	27( 21)
れいわ	21	12	21( 12)
社民	15	9	15( 9)
N党	30	27	11( 8)
諸派	23	9	14( 0)
無所属	80	80	—
合計	1051	857	817(623)

(注)カッコ内は小選挙区との重複立候補者数。合計は重複立候補者数を除く